

2021年 2月 26日 (金)

みらいとびら  
**未来への扉**



高等特別支援学校 支援部 第140号

今年度も残りわずか、3年生は1週間後にはよいよ卒業です。生徒の皆さんもご家庭のみなさんも、これから始まる新しい生活に、大いなる期待を膨らませていることと思います。それと同時に、この高等特別支援学校での3年間の生活に思いを馳せているのではないのでしょうか。

私は今年この高等特別支援学校に赴任しました。この学校のことは、卒業する3年生の方がはるかに詳しく、楽しい思い出もたくさんあると思います。今年1年でその1部を共有できたこと、とても嬉しく思っています。

今日は卒業生を送る会が行われました。いつもなら全校生徒が集まって催し物をすると聞いています。ですが、今年はそれぞれ別の場所に分かれてリモートで開催しました。

テーマは『感謝を込めて、先輩へ』です。テーマの通り、1、2年生からはお礼のメッセージ、お世話になった先生からもメッセージを送りました。また、3年生は今後の目標や夢を決意表明として伝えました。リモートだからこそ相手に感謝の気持ちを伝えることに重視できたように感じます。

1年生から3年生に宛てたメッセージは3週間前に用意したものです。私は1年生が書いている様子を見ていました。初めからスラスラと書ける生徒はほとんどいませんでした。

今年度は行事数が減り、人との接触も控えることが増えたため、1年生は特に先輩たちと交流する機会が少なかったことも理由としてありそうです。

ですが、限られた中でも3年生の先輩たちの姿を1年生は見つけていました。

- 職業実習での様子を廊下から見かけ、真剣に取り組む姿に感動したこと
- 廊下ですれ違う先輩たちの挨拶が丁寧なこと
- 体育大会の準備を率先して動いていたこと
- 部活動での練習方法を親身になって教えてくれたこと
- 雨の日の練習場所を教室まできて教えてくれたこと
- 寄宿舎で好きなアーティストの話ができたこと
- 高特チャンネルの1つ1つの完成度がすごかったこと

などなど・・・

他にも「次に来る後輩のために3年生のような先輩になりたい。」と書く生徒もいました。交流の機会が少ない中でも、3年生の行動1つ1つが後輩たちにとって大きな勉強に繋がり、目標となったと思います。

1、2年生の皆さんは、次に来る後輩の目標となれるよう頑張っていてくださいね。

3年生の皆さんは、この高等特別支援学校での思い出や学んできたことがたくさんあると思います。また、頑張ってきた姿は後輩たちにもしっかりと伝わっていることでしょう。

これから先も辛いこと、大変なこともあると思いますが、3年間培ってきたことを思い出して頑張ってきてもらいたいと思います。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

## うちの先生♪M. N先生

<レポーターはN山です>



◆高特職員のなわとびチャンピオン、総務部のM先生、先生の専門を教えてください。

専門は「栄養学」です。私は食物学科が専攻で栄養学をたくさん勉強しました。卒業してからは現場で調理を学びましたよ。(食べ物のスペシャリストですね。ちなみに得意料理は?)

そうですね、これといつてはないですがパンはよく休みの日に作りますね。(生地から?) そうです。生地から発酵を2回行ってトータル2時間くらいでおいしいパンができますよ。(栄養学を学んで大切だなと感じたことは?)

料理にたくさん色があることです。食卓やお弁当を広げたときにタマゴの黄色、トマトやニンジンの赤色、葉物やブロッコリーなどの緑色、それから豆や海藻の黒色など彩りが鮮やかであれば栄養のある食事だということ。彩りを日々、心がけてご飯を作っています。

◆学生時代はやはり飲食関係のアルバイトですか?

学生の時はコーヒー屋とパン屋でバイトしていましたよ。パン屋は接客ではなくて店の裏にある工場でパンを製造する仕事でした。ですから朝の6時頃に出勤して生地をこねるところから頑張っていました。(先ほどのパン作りにつながりましたね)

それから給食を作るアルバイトもしました。この仕事は決められた時刻にご飯を作らないといけなかったので、それまでに調理の段取りを考えることや事前の下準備がすごく大事だと学びました。

◆旅行がお好きだと聞きましたが?

はい。毎年のように海外旅行に行っていました。今はコロナで行けませんが…(思い出に残っている旅行は?)

学生の時に友達と二人でヨーロッパと香港を3週間、旅行したことかな。これも、きっかけは外国にはどんな食べ物あって、どんな新しい味に出会うことができるかなって。(食への情熱が強い…)

素敵な食べ物との出会いがありましたが、外国の方と触れ合う中で自分を見つめなおすことができましたよ。それは、自分の未来のことをしっかりと考えることです。外国の方と話をしていると自分の将来のことや自分が頑張りたいこと、勉強したいことを私に堂々と語ってくれました。自分のことを大切にして、常に今の自分と向き合い、生きている姿に感動しました。